

実用先進リハビリテーションカンファランス2025summer Q&A

2025年7月5日（土）開催

●がんと呼吸リハビリテーション~周術期を中心に~

藤田医科大学病院リハビリテーション部 篠原史都

質 問)

プレリハビリテーションではどのようなことを行っていますでしょうか？具体的な取り組みを教えてくださいと幸いです。

回 答)

当院では手術を受けられる方が非常に多いことや術前入院期間が短いため、プレリハビリテーションを積極的には行えていないのが現状です。

一方で、数は少ないですが、麻酔科術前外来にて著明な身体機能や呼吸機能の低下を認めた場合には、外来で運動療法の指導を行っております。

具体的にはサルコペニアやフレイルの評価を行った上で、個々の活動量に合わせた筋力増強練習や有酸素運動の指導を行っております。

また、術後は早期から離床を中心としたリハビリテーションを実施していくこと、術後疼痛を加味した排痰法や基本動作方法等のオリエンテーションを行っております。

*テキストの無断転載、無断使用を固く禁じます。

=====

主 催：実用先進リハビリテーション研究会

事務局：藤田医科大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座内 担当 尾関

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2167 FAX 0562-95-2906

メール rehabmed@fujita-hu.ac.jp